

SGS(大径パッドハンド)取扱説明書

CONVUM

SGS-000-M001B

この度は、SGS(大径パッドハンド)をお買い上げいただきありがとうございます。

今後ともよろしくご愛顧の程お願い申し上げます。

ご使用前に取扱説明書を必ずご一読ください。又、本書は大切に保管してください。

- ここに記した注意事項は、当社製品を安全に正しくお使いいただき、人身への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、取り扱いを誤った場合に生じる人身への危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を表示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですから、必ず守って下さい。

危険: 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告: 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合。

注意: 取り扱いを誤った場合、人が障害を負う危険が生じることが想定される場合。および物的損害のみの発生が想定される場合。

使用上の注意

危険

- 爆発性雰囲気の場合では使用しないでください。

警告

- 本製品は、停電や空気圧源のトラブルが発生すると、真空性能の低下によりワークを保持する事が出来なくなります。吸着力を失うと、搬送中のワークが落下し人体や機械装置に損傷を招く危険性がありますので、落下防止に関しては十分な安全対策を施してください。
- 清浄な空気をご使用ください。圧縮空気中に腐食性ガス・化学薬品や塩分などが含まれていると、破損やエア漏れの原因となりますので、使用しないでください。
- 腐食性ガス・化学薬品・海水・水蒸気の雰囲気、又は付着する場所では使用しないでください。
- 粉塵の舞う環境下では使用しないでください。真空性能低下によりワークを保持する事が出来なくなります。

注意

- 接続する継手は漏れが無いように確実に接続してください。
- 圧縮空気供給側にはエアフィルタを取り付けてください。尚、エアフィルタにはる過度5 μ m以下のものを使用してください。
- エアドライヤを設置してください。ドレンを多量に含んだ圧縮空気は真空機器の動作不良の原因となります。エアドライヤを設置して湿度を下げ、ドレンの発生を減少させてください。
- スラッジ対策を施してください。空気圧機器にコンプレッサオイルの劣化物(スラッジ)が混入すると、動作不良の原因となります。スラッジフィルタやミストクリーナを設置して、機器にスラッジが流入することを防止してください。
- 無給油で使用してください。真空発生器に供給する空气に、エアルブリケータを用いて給油すると、ノズルに油が付着し、性能低下の原因になります。
- 低温下での使用について、5℃以下で使用する場合、圧縮空気中のドレン、水分などが固体化または凍結しないように、エアドライヤを設置するなどの対策を施してください。
- 空气の質 ISO8573-1:2010(JIS B 8392-1:2012)による圧縮空気品質等級に準拠した空气を使用してください。品質等級: 固体粒子等級: 2、水分等級: 6、オイル(油分)等級: 3相当としてください。

取付け

警告

- 連結部がゆるまない様な取付けをしてください。取付けが不十分だと本機が外れ、怪我や機器が損傷することがあります。
- 機器が適正に作動することを確認するまで、本機に圧縮空气を供給しないでください。取付け後、圧縮空气を接続して適正な機能検査を行い、正しく取り付けられ安全かつ確実に作動することを確認してから、システムを起動してください。

注意

- ラベルなどの型式表示部を有機溶剤などで拭き取らないでください。表示が消える原因になります。
- 連結部は必要に応じてネジロック剤を用いて、緩み止め対策を行ってください。

配管

注意

- 配管する前には配管内を十分フラッシングして、異物(粉体・液体等)を除去してください。
- 誤配管をしないでください。圧縮空气の供給ポートとセンサ接続口を間違えないように配管してください。
- 配管継手をねじ込む際は、切粉やシール剤が内部に混入しない様にしてください。

保守点検

注意

- 保守・メンテナンスの場合は、圧縮空气が供給されていないことや外部接続機器の電源が入っていないことを確認してから行ってください。
- 空气の質を維持する為に、エアフィルタのドレン抜きを定期的に行ってください。
- 異物(粉体、液体等)を吸込んだ場合、適時メンテナンスを行ってください。

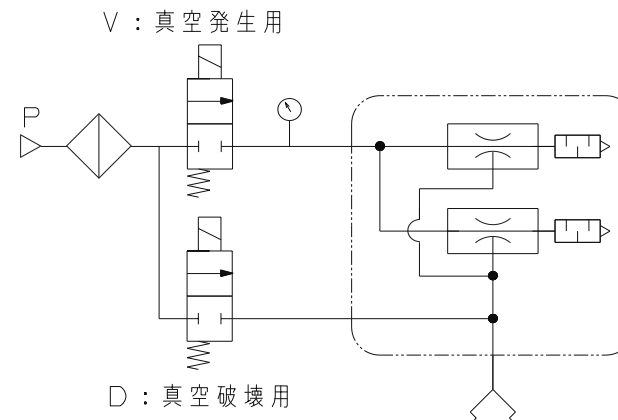
仕様

	単位	N1(ノズル1本)	N2(ノズル2本)
使用流体	-	無給油圧縮空気	
使用環境温度	℃	0~50但し凍結無き事	
使用圧力範囲	MPa	0.15~0.55	
ノズル径	-	10X	
吸込み流量	L/min(ANR)	38	72
空気消費量	L/min(ANR)	52	104
到達真空圧力	kPa	-90	
供給圧力	MPa	0.45	
対応パッド径	mm	$\phi 60 \sim \phi 100$	
取付インターフェース	-	4-M5(PCD31.5)/4-M4(PCD25)	

空気圧回路図

機器接続例(必要に応じてワークを離脱させるための破壊エアを用いてご利用ください)

1次エア供給用の機器はお客さまでご用意ください。



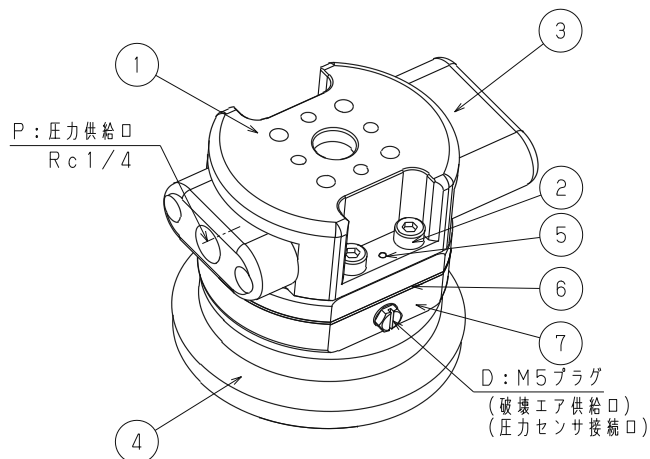
■SGS(大径パッドハンド)基本構造

- ・P: 圧力供給口 Rc1/4にホース用継手を取付けてエア供給を行ってください。
- ・D:M5プラグを外して圧力センサとの接続や破壊エア供給ポートとして使用することが可能です。

【構成部品】

- ①ボディ
- ②六角穴付ボルト(M5×4個)
- ③サイレンサケース
- ④吸着パッド
- ⑤平行ピン(φ2×2個)
- ⑥ガスケット
- ⑦JOINT

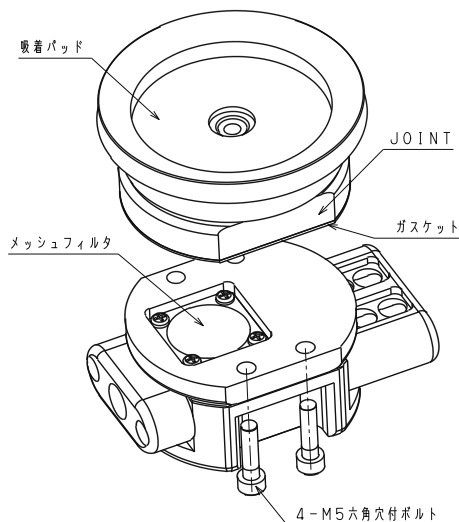
※右図はSGSの代表的な構造になります。



- 注) M5プラグの数量はタイプによって異なります。
- ・SGS-N*-PF**, PJ**, PB**, PU**タイプ...1個
 - ・SGS-N*-PCG**, PK2B**, PDGタイプ...2個
- 注) SGS-CRK※※タイプにはM5プラグはありません。

■SGS-N*-PFG, PJG, PBG, PUGタイプの分解、フィルタ清掃手順

- ・ボディを固定している4-M5六角穴付ボルトを外します。
 - ・吸着パッドとJOINTを外します。
 - ・メッシュフィルタをエアブローで清掃します。
 - ・清掃後は元通りに組立してください。
- 注) M5六角穴付ボルトの締付けトルクは3.0N・mを目安に締付けてください。

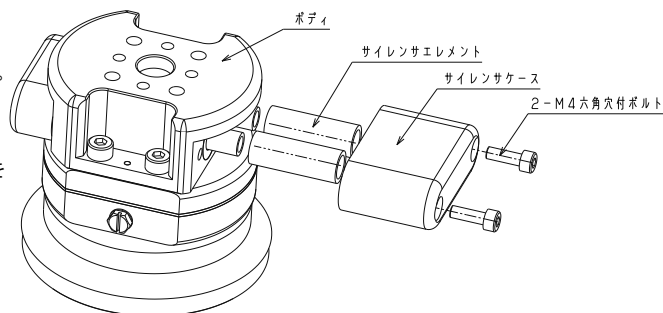


■SGS-N*-PK2Bタイプのフィルタ清掃手順

- ・SGS-N※-PK2Bタイプのみ、パッド内部にフィルタが内蔵されておりますのでパッドを外してメッシュフィルタをエアブローで清掃します

■サイレンサケースの分解、サイレンサ元素交換手順

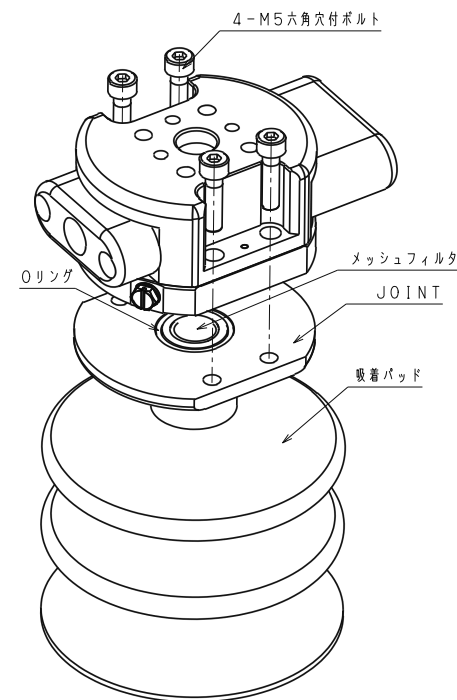
- ・2-M4六角穴付ボルトを外しサイレンサケースを外します。
 - ・ピンセット等でサイレンサ元素を取り出します。
 - ・新しいサイレンサ元素をサイレンサケースの穴に挿入します。
 - ・交換後は元通りに組立してください。
- 注) 2-M4六角穴付ボルトの締付けトルクは1.2N・mを目安に締付けてください。



【サイレンサ元素保守】
型式: SGP-SE (2個/セット)

■SGS-N*-PCGタイプの分解、フィルタ清掃手順

- ・ボディを固定している4-M5六角穴付ボルトを外します。
 - ・吸着パッドとJOINTを外します。
 - ・メッシュフィルタ上部のOリングとメッシュフィルタを取り出します。
 - ・メッシュフィルタをエアブローで清掃します。
 - ・清掃後は元通りに組立してください。
- 注) M5六角穴付ボルトの締付けトルクは3.0N・mを目安に締付けてください。
- 注) Oリング等、部品の紛失はしないように取扱ってください。



■SGS-N2-PDG1XCタイプの分解、フィルタ清掃、交換手順

- ・4-M5六角穴付ボルトを外しボディを外します。
 - ・4-M5六角穴付ボルトを外しJOINTを外します。
 - ・フィルタをピンセット等で取り出します。
 - ・フィルタをエアブローで清掃後、もしくは新しいフィルタと交換の場合、フィルタを穴にセットします。
 - ・交換後は元通りに組立してください。
- 注) M5六角穴付ボルトの締付けトルクは3.0N・mを目安に締付けてください。
- 注) Oリング等、部品の紛失はしないよう取扱ってください。

PDGタイプにはM5プラグが2個付いております。1つはスポンジ大側、もう1つはスポンジ小側と繋がっております。各々真空センサとの接続や破壊エアとの接続が可能です。

スポンジパッド面には8-M2.5タップがあります。お客様の方で巻き込み防止カバーやストッパー取付けの際にご利用ください。

【PDG用保守フィルタ】
型式: SGP-PK-F2 (10個入り)

【PDG用保守スポンジ】
型式: PDG-100CR-S (スポンジ大小セット)
尚、スポンジ交換の際は市販品の両面テープ剥がしを用いてスポンジ貼付面を綺麗な状態にしてから交換を行ってください。

